

箱根組ニュース

第323号 2019年11月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

黒山三滝から高山不動尊、らくだ組も頑張つて歩いて西武秩父線の西吾野駅に下りる。

10月20日(日)、東武東上線池袋駅午前7時発の快速急行小川町行に乗車。坂戸駅で東武越生線に乗り換え越生駅に8時11分着。

降り立ったのは、太田、星野(幸)、坂巻、及川、岩岳、和田、神山、星野、神吉、戸丸の10名。

西口のバス乗り場から8時36分発の黒山行きバスに乗り込む。ニューサンピアホテル越生経由のバスはホテル前には多くの自転車の人たちが集まっていた。何か大会でもあるようだ。

9時過ぎ、バスは終点の黒山に到着。バス停の少し先が突き当りのようになっていて右に曲がると大きなアーチ状の看板をくぐる、右に日本観光百選とあり、頭上には黒山三滝入口と大きく書いてある。滝までは1,1キロ。

9時9分、少し広くなった無料駐車場のところで坂巻さん指導のストレッチをする。

9時21分、再出発。緩やかな傾斜の舗装道路を進んでゆく。しばらくすると関係者以外の車両通行止めの看板があ

る。横には土石流危険渓流の看板があり、横の幅2〜3mほどの小川には先日の台風19号で大水が出たようで道のぎりぎりまで水位が上がったのが草の倒れ方でよくわかる。

9時23分、右側におしゃれなお店が現れる。くろやま文学館というらしいが、カフェのような、レストランのような素敵な店だ。

その左側少し小高いところにご自由に御利用くださいと書いてある森の中の東屋とベンチとテーブルのある休憩所があつた。もし峠越えをあきらめた場合の昼食の会場にと下見をしておいた。白くきれいな山茶花が花びらを落と

していた。
9時27分、滝まであと10分の看板を通過。右側に宮崎銘木店、2階が根っ子食堂と書いてある。大きな切り株が入り口にある。

右側の公衆トイレを通過すると小さな橋が現れる。橋には三滝川と彫つてあるようだ。台風の激流の跡が流木の枝などよくわかる。



9時32分、滝まで5分の看板を通過する。川の流れは上旬に下見に来た時とは全く違って水量が多い。

9時34分、左側に三滝マス釣り場。「お休み処 イワナ、マス、炭火焼き」と大きな看板がある。行きにご注文くださいれば帰りまでに焼いておきますと少し手前に看板があった。

9時37分、三滝の一つの天狗滝に到着。左側の沢の100m先少し高いところに見える滝が天狗滝だ。ところが台風の影響でルートは流木で埋もれていて通行止めになっている。道もかなり荒れているようだ。台風の威力が思い知らされる。でも遠くに滝を見ることはできた。じわじわと登ってゆき右側に関八州見

現在の収支	
繰越	41693 円
支出	
2 円切手	147 枚 294 円
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	39999 円

切手残数	
8 2 円切手	1 3 5 枚
2 円切手	1 3 5 枚
4 0 円切手	1 3 1 枚

晴台の道を分ける。目の前高い所には白い御幣がビニールのカバーを着けられていくつもぶら下げられている。結果(聖域)の意味か?と思う。

9時41分、土産物店前に

到着。左側の橋を渡ると傘杉峠方面だがこちらでも通行止めになっている。

階段を上り土産物店横を抜ける。すごい雨だったと店の方が言っていた。梅の産地らしく美味しそうな梅干しが並んでいた。

9時45分、三滝の名所の夫婦滝に到着。赤い太鼓橋が横にあり落差の大きい男滝と落差は小さい女滝が並んでいる。どちらもすごい水量だ。太鼓橋のところで記念撮影。

10時5分、出発。女滝から男滝に向かって登って、お堂の横を登ってゆくと少し前に分岐した関八州見晴台への道と合流する。山道を登ってゆく。木の根の張った坂を上ってゆく。男女2名が降りてきたが途中の林道が土砂崩れで埋まっているので注意するようにと助言をいただいた。

10時25分。舗装の林道に出て左に進む。10時35分、右側高い所

11月17日(日) 丹沢の三ノ塔(1204.8m)です。
レギュラーコース 歩行約5時間
(上り2時間35分 下り2時間25分)
小田急線秦野駅からバス(50分)でヤビツ峠まで、岳ノ台、菩提峠、二ノ塔経由で三ノ塔へ、下山は三ノ塔尾根で大倉バス停

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー等)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込み締め切り 11月15日(金)

集合 11月17日(日)
小田急線新宿駅 6:11 発
急行小田原行き(前から三両目車内)
途中駅発
代々木上原 6:17 下北沢 6:19 経堂 6:23
成城学園前 6:27 登戸 6:32
向ヶ丘遊園 6:34 新百合ヶ丘 6:40
町田 6:50 相模大野 6:53 海老名 7:02
本厚木 7:06 愛甲石田 7:09 伊勢原 7:13
鶴巻温泉 7:16 東海大学前 7:18
秦野 7:23 (バス乗り換え)
7:44 発 ヤビツ峠行き

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

に民家がありこれを通過。淡いピンクの山茶花が花びらを落としている。

10時41分、目の前の林道が土砂で埋まっている。ここが土砂崩れの現場だ。

高さは1メートル50センチから2mほどの土砂の山になって道路を完全に塞いでいる。よく見ると3本の大きな杉が右上の斜面から崩れ落ちていいる。そのうちの一本は道路の左側までずれ落ちてそこで傾いたまま立っている。

先頭の和田さんが土砂の山を越えた後に泥に足を取られてずっぽりと入ってしまった。だがそのお陰で他の9名は被害がなく通過ができた。和田さんの靴とズボンをきれいにして再出発。

11時11分、林道が右に大きく曲がってゆくとところで左側に花立松峠への山道が始まる。ここで小休止。

11時17分出発。右側には小さな沢が流れている。これに沿って緩やかに登ってゆく。

11時20分、左側に大きな岩が現れる。林のなかで目立たないが圧倒する岩だ。右の沢の中に一本の木が横たわっている。ヒノキのようだが、この間の台風の激流で皮をむかれたのだろうか、そのまま床柱になりそうなほど表面がきれいだった。

11時43分、沢がいつの間にか左側

に変わっている。植林地は続いている。その先で道は左に大きくカーブして沢を渡る。上から見る沢は無残にも倒木が沢山横たわっている。その先で立派なガマガエルにも遭遇。

12時、左側の景色が開けた。所沢、川越方面からさいたま新都心方面だろうかよく見える。頑張つて登ってゆく。スキの原を抜ける。

12時20分、林道の花立松峠に到着。12時30分出発。少し林道を北方向に進む。ウルシが赤く黄色く色づいている。すぐに右側の尾根に関八州見晴台への道と別れ左に平坦な林道を進む。

12時55分、車道分岐を左に下ってゆく。下った分岐を右に入ってゆく。

13時5分高山不動尊に到着。お詣りして西側の東屋で昼食。キノコ汁と持ち寄りのおいしい料理でパーティー。控えめにといいながらビール、ワイン、日本酒もいただく。

2時35分、下山開始。

2時47分西吾野への分岐を左にすすむ。

3時12分、石地蔵。

4時12分、民家の横に下りる。

4時17分車道に出る。

4時37分、西吾野駅到着。駅前の水道と備え付けのブラシで靴の泥をきれ

いに落とす。

4時51分発快速急行池袋行きで乗り換えなしで快適に帰京。

ラグビーの南アフリカ戦に間に合った。らくだ組もやればここまでできると実感した一日だった。



